

平成 23 年度
施 政 方 針



施政方針

～創造都市・浜松 市制 100 周年からの新たな歩み～

【はじめに】

平成 23 年度の予算案並びに関連議案のご審議をお願いするに当たりまして、都市経営の基本的考え方と予算の概要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

平成 23 年度は、市制 100 周年を迎える年であります。

これまでの 100 年を振り返りますと、明治 44 年、人口 3 万 6 千人で市制を施行して以来、先人の皆様の英知の結集とたゆみない努力によって、戦争の惨禍をも乗り越え、世界に誇る技術と文化を有する創造都市・浜松として、今日の繁栄を築いてまいりました。県庁所在地でもなく、大都市近郊でもない本市が、ものづくりのまちとして自立的な発展を遂げ、政令指定都市へと移行した輝かしい歴史に、私は誇りを持っています。こうした本市の発展を支えてきた高い創造力や物事に果敢に挑戦する精神を、今後も確実に引き継いでいく必要があります。世の中は混沌とし、先を見通すことが大変難しい時代にありますが、これまでの発展の基盤を活かしながら、活力とアイデアに満ちた市民の皆様とともに、市制 100 周年からの新たな一歩を踏み出してまいりたいと考えております。

そのスタートとなる平成 23 年度は、創造都市・浜松の“「創」・新しく創る”をキーワードとして「自立」と「協働」の市政運営を進めます。市民協働の担い手となるひとづくりや、新産業の創出、地域主権の時代における新たな自治の創造などにおいて、本市の強みを活かした「創」を展開してまいります。

＜平成 22 年度の振り返り＞

平成 22 年度を振り返りますと、こども第一主義をはじめ、市民協働、新産業の創出、さらには、都市間外交の取り組みが大いに充実した年と言えます。

こども第一主義につきましては、「子ども育成条例」を昨年 4 月から施行し、家庭、地域、学校が地域力を結集して、浜松の子どもを支え、ともに成長する社会の実現に努めてまいりました。また、小中学生の医療費助成について、入院に加え、通院

まで対象を拡大し、子育てに対する負担を軽減してまいりました。

市民協働に関しては、4月に「市民協働センター」をオープンし、市民主体の地域社会の実現に向けて、市民活動の支援などを進めています。また、民間企業を中心とした「浜松まちなかにぎわい協議会」が発足し、都心の活性化に向けた大きな推進力として期待されています。さらには、市民や民間企業の協力のもと、浜松を舞台に「書道ガールズ♡青い青い空」が制作され、地元での鑑賞者が2万人を超えるとともに、本年3月には、首都圏においても上映予定にあるなど、浜松の魅力や浜名湖の美しい景観を強くアピールしています。

新産業の創出に向けては、次世代環境車の走行実験をスタートするなど、産学官連携によるオール浜松体制の取り組みを活発化させております。このほか、3月のFSC森林認証の取得により、天竜材のブランド化や製品開発の検討も進んでおります。こうした産業界の新たな動きが、雇用の創出に結びつくように今後も行政として支援してまいります。

都市間外交にも力を注ぎました。8月には、中国瀋陽市と観光交流を中心とした友好交流都市協定を締結し、10月には、都市・自治体連合アジア太平洋支部コンGRESと、国際ユニヴァーサルデザイン会議の2つの国際会議を開催しました。また、音楽文化友好都市であるワルシャワでショパンコンクールの優勝者に「浜松賞」を贈呈するなど、世界との友好の絆を深めたことは、今後の取り組みに大きな弾みとなりました。

平成23年度からの「第2次浜松市総合計画」につきましては、基本構想の見直しや、都市経営の考え方、重点戦略などを市民の皆様とともに検討してまいりました。そして、11月議会において、新たなまちづくりの指針として、ご議決いただいたところであります。

また、平成22年度は、マニフェスト実現の集大成の年として、掲げた全項目の総仕上げを進めてまいりました。行財政改革の推進により財源確保を図りながら、マニフェスト工程表に基づき着実に事業を実施した結果、概ね公約を達成することができるものと考えております。

このように、平成22年度の市政運営を順調に推進できましたことは、議員各位並

びに市民の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第であります。

【平成 23 年度の都市経営の基本的考え方】

我が国の経済は、依然として厳しい水準で推移する円高などにより、景気の足踏み状態が続いております。また、歴史的な政権交代から 2 年目を迎えておりますが、国の平成 23 年度予算案では、2 年連続で国債発行額が税収を上回るなど異常ともいえる事態に陥っており、閉塞感が国全体を覆っています。国政が混迷を深める一方で、基礎自治体に対する期待は高まってきており、本市といたしましても、経済や国政の状況、市民ニーズなど、市政を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、「自立」と「協働」による取り組みを推進してまいります。

<市民協働によるまちづくり>

市制 100 周年記念事業の「100 夢プロジェクト」は、市制 100 周年を市民の皆様とともに祝い、郷土愛や一体感を醸成するよう、市民主体の取り組みを応援するものです。これまでに大変多くの事業提案をいただき、市民のふるさとを思う気持ちと活発な行動力に深く感銘したところであります。こうした市民の皆様との「協働」をより一層推進するため、第 2 次浜松市総合計画において「市民協働によるまちづくり」を都市経営における最優先の考え方といたしました。

現在も、安全・安心のまちづくりや子どもの健全育成、環境保全など様々な分野において、多くの市民や市民活動団体が自主的・自発的に活躍しており、公共サービスの新たな担い手として注目されています。

こうした市民が活躍する環境を整え、市民協働をより一層活発化させるため、行政といたしましても、行動力のあるひとづくりをはじめ、多様な主体が活動しやすい環境づくり、また、市民活動を有機的に結びつけるコーディネーターとしての役割を果たすことにより、市民協働の体制づくりを進めてまいります。

<産業構造の転換期に向けての対応>

本市は、これまで「ものづくりのまち」として発展してまいりました。先人の皆様は、当時の世相を敏感に察知し、先見の明と確固たる意志を持って、繊維産業から楽器産業や輸送用機器産業へと、その時代を担う産業を築いてまいりました。未

来に向けた新たな成長産業へと移り変わる産業構造の転換期に際して、市民の皆様の果敢な挑戦に期待するものであります。

本市としましても、新産業の創出に向けて、「次世代自動車」や「光電子技術」など、本地域が強みを持つ分野におきまして、産学官ネットワークを形成し、新技術・新製品・新サービスの開発や、人材育成、販路の開拓に対し、多様な産業の創意と工夫が結集されるよう積極的に支援してまいります。

農林水産業においては、生産・加工・流通を一体的に進める6次産業化なども注目されています。農商工連携の強化による生産品の高付加価値化や新たな技術の活用を通じて、農林水産業の活性化を図ります。また、FSC森林認証の取得は、天竜材のブランド化に追い風となっております。流通の効率化や、天竜材の製品開発など、川上から川下までを見据え、関係団体の連携を強化し、「売る林業」を目指してまいります。

＜都市部と中山間地域の特色を活かした共生共助のまちづくり＞

昨年3月、浜名湖の境界が確定し、本市の面積は1,558平方キロメートルになりました。全国で2番目の広大な市域は、可住地面積が広く、郊外地に多くの市民が居住する分散型の都市構造となっているのが特徴です。

広域合併の後、政令指定都市に移行し、地域の魅力を活かした共生・共助のまちづくりを推進してまいりましたが、これまで以上に、都市部と中山間地域の交流を促進させ、本市の多様性を身近に感じ、地域固有の特色を引き出せるよう市民の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えております。

また、都市部もあり、過疎地域もある多様な市域の中できめ細かな市民サービスを提供するためには、市民の声が市政に届く自治のしくみづくりが必要です。このため、区協議会を充実させるなど、地域力を結集して、市民の皆様との信頼関係のもと、共生・共助による豊かな地域社会を形成してまいります。

＜行財政改革の推進＞

平成22年度からスタートした行政経営計画では、「行政サービスの質の向上と持続可能な都市経営の実現」を基本理念に掲げております。

これまで、歳出の徹底した見直しなど財政の健全化を進め、平成19年度からの4

年間で、市債残高を約 400 億円、削減いたしました。また、定員適正化計画による職員定数の削減や、時間外勤務の縮減のほか、施設の統廃合や遊休資産の売却に積極的に取り組み、資産の適正管理を着実に進めてまいりました。

行財政改革は、終わりのない不断の取り組みです。市民の目線を取り入れ、人件費の縮減、外郭団体の経営の自立、橋りょうや上下水道、公共建築物などの長寿命化を含めた資産管理、ごみ処理費用の削減など、行政のスリム化を継続して実行してまいります。

＜広域連携の推進＞

地域主権の時代においては、基礎自治体の自立が求められる一方で、周辺自治体との連携が極めて重要であると考えております。

とりわけ、三遠南信地域の連携は、県境を越えた広域的な取り組みであることや、地域主権の時代にふさわしい構成団体の自発的な取り組みであることから、まさに日本の県境連携のモデルであり、本市としましても、三遠南信地域の拠点都市として、道州制を視野に入れ、自負と責任をもって取り組んでまいります。

こうした中、平成 23 年度に三遠南信自動車道のうち引佐・鳳来間が、24 年度には新東名高速道路の御殿場・三ヶ日間の県内ルートが供用される予定です。これらの広域交通網の整備が進められたことは、これまで三遠南信地域が一体となって連携の重要性を訴え続けてきた成果であります。広域交通網の整備に伴って、本市は東西と南北の交通結節点となり、三遠南信地域における役割も益々増大します。また、地域間の市民活動や経済活動も更に活発化するものと期待しており、三遠南信サミット宣言における「三遠南信地域の融合」に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

さらに、新たな取り組みとして、静岡県西部地域においても、地域主権の時代にふさわしい広域連携のあり方について、遠州地域の 8 市 1 町の首長による会議を立ち上げ研究を深めてまいります。

＜創造都市・浜松＞

創造都市は、本市の発展を特徴づける重要なキーワードであります。このため、第 2 次浜松市総合計画におきましても、「市民協働で築く『未来へかがやく創造都

市・浜松』を都市の将来像に掲げました。

本年3月には、ユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野への加盟に向け正式申請を行う予定です。ユネスコでは、創造都市を「文化の営みだけでなく、革新的な産業活動との連環により発展する都市」と位置づけています。この趣旨にふさわしい本市の特色や取り組みを世界レベルで評価いただくことは、浜松のアイデンティティを確立するとともに、市民主体の音楽文化が活性化する絶好の機会であります。市民や企業、大学の協力を得ながら、音楽分野ではアジア初となるユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を目指してまいります。

これまでの100年、新しい価値を求め、果敢に挑戦する「やらまいか精神」により、世界に冠たる企業を生み出してきた大いなる伝統があります。そして、楽器のまちから“音楽の都”を目指して、音楽を基軸とした市民文化が根付いてきた実績があります。

こうした経済活動・文化活動の伝統と実績を基盤として、心豊かで創造性があふれる市民が集い、新たな産業、新たな文化など、新しい価値が絶え間なく生まれ育つ創造都市・浜松を目指してまいります。

【平成23年度の予算編成方針】

次に、平成23年度の予算編成方針について申し上げます。

本市の財政は、これまでの行財政改革により、他の政令指定都市に比べ健全な状態にあるとはいえ、近年、税収減などによる歳入の減少が進む一方で、扶助費などの財政需要が高まっており、決して楽観できる状況ではありません。

定員適正化計画の着実な実施により、人件費の削減など行財政改革の効果が見込まれるものの、大量退職による退職手当や、過去の市債の償還は、なおも大きな負担となります。また、扶助費につきましても、少子化対策や高齢化の進展による経費負担に加え、雇用状況の悪化に伴う生活保護費が、今後も増加するものと見込んでおります。

平成23年度は、市税収入の若干の改善は見込まれておりますが、こうした厳しい状況を踏まえ、今後も引き続き、歳入の根幹となる市税の収納率向上と滞納額の削

減などを進めるとともに、行財政改革を徹底して無駄を省き、市債に頼ることのない財政運営に努める必要があります。

このため、予算編成も大変厳しいものとなりましたが、必要不可欠な事業は着実に実行するため、「積極的な未来への投資」「歳出構造の改革」「行財政改革の徹底」の3点を基本姿勢に掲げ、事業の選択と集中を進めてまいりました。

この結果、予算規模は、一般・特別・企業会計の総額では、前年度に比べ0.8%、40億円増の5,293億円となるものであります。このうち一般会計は、前年度に比べ3.4%、90億円増の2,750億円でございます。

【平成23年度の重点戦略と主な事業】

こうした予算編成方針を踏まえ、平成23年度に実施する諸施策について、第2次浜松市総合計画に掲げた7つの重点戦略に沿って、ご説明申し上げます。

◆重点戦略1：未来を拓く“新・ものづくり”

重点戦略の1つ目は、「未来を拓く“新・ものづくり”」です。

ものづくりによる発展の歴史を基盤とし、今後も持続的に成長する自立した都市を創造するため、地域産業の活性化を推進します。

新産業の創出に向けては、県境を越えた三遠南信地域において、産学官連携を強化し、「次世代自動車」「健康・医療」「新農業」「光エネルギー」の4つの分野を中心に、新技術、新製品の開発や事業化を支援するとともに、輸送用機器次世代技術産業や環境エネルギー産業など、今後成長が見込まれる企業をターゲットに戦略的な企業誘致を進め、新たな産業の集積を目指してまいります。

また、はままつ産業創造センターについては、浜松地域テクノポリス推進機構との一体化を進め、機能強化を図るとともに、中小企業に対して、次世代自動車に対応した新たな技術の習得や国内外への販路開拓などを支援し、中小企業のイノベーションの促進と競争力の強化に努めます。さらには、ものづくりのまち・浜松の産業規模にふさわしい「新・産業展示館」の整備に向けて、基本構想の策定に着手してまいります。

農林水産業については、先端農業技術、マーケティング戦略の活用などの研究を深め、6次産業化を目指すとともに、新たな担い手として期待される企業の農業参入について、モデル地区の設定に向けた調査を進めるほか、「はままつフルーツパーク」を「食」と「農」の発信基地として、再生を図ってまいります。また、栽培漁業の促進や湖内漁業の拠点整備など水産業を振興します。

さらに、「売る林業」を展開するため、FSC 森林認証を活用した天竜材のブランド化とともに、天竜材の家百年住居（すまい）の助成事業を拡充します。このほか、森林整備に土木建築の技術を活用できるよう、建設業界と森林組合との連携強化や、作業道の整備による低コスト林業の推進、生産量と流通量の拡大に向けた拠点整備を支援します。

雇用対策としては、職業相談や、就職に向けたセミナーの開催、若年者、新卒者等を対象とした就労支援、また、求職者が生活をする上で抱える多様な悩みをワンストップサービスで相談に応じる「パーソナル・サポート・サービス」モデル事業に取り組みます。

◆重点戦略2：豊かな心と生きる力をはぐくむ・子どもの未来

重点戦略の2つ目は、「豊かな心と生きる力をはぐくむ・子どもの未来」です。

子どもたちが地域の人々と触れ合いながら、豊かな心と生きる力をはぐくみ、未来の担い手として成長していくことができる社会の形成に取り組みます。

まず、安心して子どもを生み育てられる環境づくりとして、保育所への入所希望の増加に対応するため、民間保育所の新設・増改築を支援するとともに、認証保育所への通所に対して月2万円の助成を行い、待機児童ゼロを目指してまいります。

また、放課後児童会については、新たに3か所を整備し、定員増加に取り組むほか、子育て支援ひろばや保育園親子ひろばなどの地域子育て支援拠点についても、更なる充実に努めてまいります。

さらに、障がいのある子どもの支援として、発達支援広場の2か所の増設や療育施設の2か所の拡張、児童デイサービス1か所の新設に向けた準備を行うとともに、療育施設と幼稚園または保育園の両方に通園する子どもたちを支援する「併行通園

児サポート事業」を新たに実施し、療育の充実を多角的に進めてまいります。

学校教育においては、たくましく生き抜くための豊かな心と確かな学力の育成が重要と考えております。平成23年度からスタートする第2次浜松市教育総合計画に基づき、「心の耕し」をキーワードとした教育活動に取り組んでまいります。

とりわけ、9年間の学びと育ちをつなぐ小中一貫教育を推進するため、市内の全小・中学校において、指導内容につながりを持たせたカリキュラムの作成や教員連携に取り組むとともに、引佐北部小・中学校については、市内初となる施設一体型の小中一貫校として、平成24年4月開校に向けた準備を進めてまいります。

また、少人数学級編制に向けては、小学校1年生を対象とした35人学級の試行導入の効果や国・県の動向を踏まえながら、本市にふさわしいあり方を検討してまいります。そのほか、北部中学校の校舎改築をはじめとする学校施設の整備にも順次取り組んでまいります。

さらに、次代を担う子どもや若者の健やかな成長を地域で支えるため、子ども・若者支援地域協議会を設置し、教育、福祉、保健、医療、雇用など様々な分野が連携して総合的に子ども・若者を支援するネットワークを構築してまいります。

◆重点戦略3：安全と安心を人から人へ・活発な地域力

重点戦略の3つ目は、「安全と安心を人から人へ・活発な地域力」です。

市民一人一人が、福祉、防災・減災、防犯、交通安全に対する意識を高め、主体的に行動する活発な市民活動を推進します。

福祉の地域力づくりとしては、日常生活に不安を抱えるひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の実態把握と、見守り・支援の拡充を図るため、「地域高齢者見守り・支援システム」の開発を進めるとともに、民生委員との連携のもと高齢者実態調査と緊急医療情報キットの配布を実施します。また、地域における相談支援体制等の強化のため、地域包括支援センターの増設に向けた準備を進めます。さらに、特別養護老人ホームを3か所、介護老人保健施設を2か所、障害のある方のためのケアホームを2か所など、需要が拡大している福祉・介護施設の充実を図ります。

防災・減災の地域力づくりとしては、引き続き、防災情報の発信や出前講座など

による啓発に努めるとともに、地域防災無線のデジタル化、橋りょう・公共建築物・上下水道施設の耐震化・長寿命化、河川・急傾斜地の防災対策、防災公園の整備等を進めます。また、大規模災害発生時においても市民生活に密接に関係する業務を継続して実施するため、「浜松市業務継続計画」を策定し、有事に備えた体制を確立します。さらに、平成 26 年の運用開始を目指し、西区大平台に「(仮称) 佐鳴湖西岸出張所」を新設し、消防救急体制を充実します。

防犯と交通安全のまちづくりについては、地域の方々による自主的な防犯活動の拠点となる地域防犯センターを有楽街に設置します。また、交通安全対策として、引き続き、通学路や病院周辺の歩道の整備、交通事故多発箇所の交差点改良などを進めます。

◆重点戦略 4：地球にやさしい持続可能な社会

重点戦略の 4 つ目は、「地球にやさしい持続可能な社会」です。

市民・事業者・行政などの参加と協働のもと、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会に向けた取り組みを総合的に進めていくことにより、地球環境に負荷をかけない持続可能な社会の実現を目指します。

地球温暖化対策としては、平成 22 年度に実施したクリーンエネルギー資源調査の結果などを踏まえて、現行の計画を見直し、市民・事業者・行政それぞれの取り組みによる温室効果ガス削減に向けた「(仮称) 浜松市地球温暖化対策実行計画」を策定します。また、家庭用太陽光発電システムの設置に対する助成を行うとともに、地元製造施設で生産された木質ペレットを社会福祉施設等で利用するなど、新エネルギーの導入を推進します。さらに、太陽光発電と組み合わせた LED 照明の公共施設への導入に向け、企業協賛を募集するほか、温暖化対策に積極的に取り組む事業者への顕彰、緑のカーテン全国フォーラムの開催などにより、温暖化対策への意識の普及・啓発を図ります。

また、ごみ減量を推進するため、地域の方々による資源物集団回収を強化するとともに、自治会を拠点に資源リサイクルボックスをモデル的に設置することによって、家庭から出る古紙や剪定した枝などを回収し、再利用・再資源化を推進します。

生物多様性の保全としては、多様な自然環境を有する本市固有の特性を踏まえて、保全対策を効果的かつ計画的に実施するため、「生物多様性地域戦略」の策定に取り組みます。また、佐鳴湖の水質改善については、水域浄化装置による実験や雨水浸透ますの設置の普及、シジミの再生実験などによる浄化対策を実施します。

◆重点戦略5：快適が感じられるくらしの満足

重点戦略の5つ目は、「快適が感じられるくらしの満足」です。

生活の中に、ゆとりや潤い、便利さや楽しみを実感できるよう多様なライフスタイルに対応したまちづくりを進め、くらし満足度を向上します。

魅力的な都心の創出に向けては、本年秋の新たなギャラリーモールの開設により、にぎわいの発信・交流拠点としての機能を高めるとともに、「浜松まちなかにぎわい協議会」が主体的に取り組むエリアマネジメントの推進、都心でのオフィス開設に対する経費助成の拡充などにより、魅力ある都心を形成します。また、JR 浜松駅前広場を中心とした歩行者の回遊性を向上させるため、歩行空間の連続性の確保や、南口広場の送迎車用スペースの拡大を見据え、交通状況調査と駅周辺の改良基本構想の策定に取り組みます。さらに、浜松城公園歴史ゾーンの整備や花・緑タウンフェアの開催により、都心における歴史・文化・観光拠点の整備と花と緑のまちづくりを進めます。

中山間地域の振興につきましては、田舎ぐらし・地域イベントを体験する交流体験ツアーの実施や都市部の住民との交流を支援する人材の育成、移住の受け皿となる空き家の活用に対する助成などにより、特色ある浜松型田舎ぐらしを推進することで、山里の活性化を図ります。

公共交通ネットワークの充実については、主要な交通結節点である JR 高塚駅の橋上化と南北自由通路の整備に着手するとともに、利用者の要請に応じたデマンドバスの実証運行を進め、公共交通空白地域を解消し、快適に移動できるネットワークを構築します。また、広域ネットワークを支える三遠南信自動車道について、現道活用区間を含め、国と連携しながら進めるなど、重点化を図り、幹線道路の整備を推進し地域間の連携を強化します。

◆重点戦略6：いきがい実感・健康づくり

重点戦略の6つ目は、「いきがい実感・健康づくり」です。

だれもが、いきがいを持ち、いきいきとした生活を送るため、子どものうちから、体力、生活環境などに応じた健康づくりに取り組む環境を整備するとともに、市民活動団体等による「健康づくり」などの取り組みを育成・推進します。

体を動かす機会の創出としては、すべての人が気軽に運動に親しむ環境を整備し、市民の健康づくりを推進します。小学生の運動機会を増やすため、放課後児童を対象としたスポーツクラブを試験的に導入します。また、「第50回1,000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を誘致し、浜名湖ガーデンパークを会場として、10,000人の参加を募り、本年7月31日に実施します。

予防に重点をおいた健康づくりとしては、引き続き、介護予防、生活習慣病予防、認知症予防、メンタルヘルス教室など各種セミナーを積極的に展開するとともに、歯の健康、食育、こころの健康などに関する健康づくりを推進します。

特に、長寿社会に向けた健康づくりの一環として、市内のスポーツクラブやスポーツ施設と連携し、市民が楽しく継続的に体を動かすことができる健康維持・生活習慣病予防プログラムの作成に取り組めます。また、任意予防接種のうち、市民要望が特に多い、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成を平成23年度も引き続き実施します。

リハビリテーション医療の拡充については、今後の医療ニーズの変化に対応するため、浜松市リハビリテーション病院の改築を進めます。

◆重点戦略7：郷土に誇り・活力あふれるまち

重点戦略の7つ目は、「郷土に誇り・活力あふれるまち」です。

産業や文化、地域コミュニティなど様々な場面において、主体性を持って行動する人材の育成に取り組み、活力あふれるまちを目指します。

市民協働によるまちづくりに活躍する人材を育成・支援するため、市民協働センターをはじめ、公民館などの市民の活動拠点を充実させ、それぞれの活動が活発化

する環境づくりを進めます。

“音楽の都”に向けた挑戦と文化芸術活動の推進については、11月に、ユネスコに加盟する音楽都市を招いて「世界創造都市フォーラム」を、来年3月には「札幌交響楽団の浜松公演」を開催し、音楽文化による交流を推進します。また、「小中学校吹奏楽楽器活用事業」などにより、子どもたちが文化芸術に親しみ、体験する機会を設け、“音楽の都”に向けたまちづくりを進めます。

浜名湖を中心とした観光交流については、アジア地域をはじめとした観光客増加を目指し、インバウンド推進事業を実施するとともに、浜名湖観光圏への誘客を促進するため、地域内の観光情報の発信や、旅行商品の企画・販売を一元的に行う組織の設立に取り組みます。さらには、拠点施設の一つである「はままつフラワーパーク」の魅力を高め、集客の増加に努めます。また、天竜川流域の戦国時代城郭群などの地域資源を活かした、魅力ある観光地づくりを進めてまいります。

多文化共生社会の実現に向けては、外国人市民と日本人市民とが、お互いの文化や慣習を認め合い、共に地域社会で活躍できるまちづくりに取り組むとともに、「外国人の子ども不就学ゼロ作戦事業」など、総合的な学習支援を実施してまいります。

さらに、市制100周年を記念する多彩な事業を展開し、100周年を契機とした、郷土への誇りの醸成と活力あふれるまちづくりを進めます。「100夢プロジェクト」をはじめ、徳川家康と浜松をテーマとした特別展、市内の民俗芸能が一堂に会する「伝統芸能フェスティバル」などを実施するとともに、こうした事業を活かしながら、シティプロモーションを更に充実してまいります。

【おわりに】

このように、市制100周年を迎える平成23年度は、本市の強みを活かした「創」を掲げ、「自立」と「協働」により、市民の皆様とともに新たな一步を踏み出す年にしてまいります。

先に述べましたとおり、平成23年度からの第2次浜松市総合計画においては、市民協働によるまちづくりを最優先の考え方に掲げております。「協働」を力強く推進

するに当たっては、市民の皆様との信頼関係が大切であり、これまで以上に、真心をもって市民の皆様と接することを、職員一丸となって実行してまいります。

また、国の動きに目を向けてみますと、地域主権の確立を政策の柱に位置づけておりますが、現在のところ、地域主権の時代における将来の国のかたちが示されておられません。そうした中、指定都市市長会では、新たな大都市制度として道府県との二重行政を排除し、十分な税財源の移譲のもと、一元的・総合的な行政サービスを提供する「特別自治市制度」の創設を国に提案したところであり、私としましては、この実現に向け、先頭に立って取り組んでまいります。

まもなく、基礎自治体優先の社会が到来します。市民協働の推進、創造都市の確立、都市間外交、行財政改革の推進など、確固たる信念を持って「自立」した市政運営に取り組み、未来へかがやく創造都市・浜松を築いてまいります。

『至誠、天に通ず。』これは、中国・戦国時代の儒学者「孟子」の教えであり、真心をもって信念を貫けば、それは天に通じて、必ずや人を動かすことができるという考え方です。私自身、常日頃から大切にしてきた言葉ではありますが、市制100周年からの新たな一步を歩み出すに当たり、改めて、この言葉の重みを肝に銘じて市政運営に取り組んでいく所存です。

以上、平成23年度の都市経営の基本的考え方と予算の概要を申し上げます。議会におかれましては十分にご審議をいただき、予算案並びに関連する議案につきまして、ご議決賜りますようお願い申し上げます。



浜松市

やらまいかスピリッツ!
創造都市・浜松